

学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成

～ 主体的・対話的で深い学びを支えるメディア教育の推進 ～

メディア教育研究部会

1 研究主題について

2019年6月21日に「学校教育の情報化の推進に関する法律」が可決され、同25日に文部科学省は「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策（最終まとめ）」を公表している。これにより、令和5年には生徒1人につき1台の教育用のパソコンやタブレット型端末が利用できるようにICT機器が整備されていくことが予想される。

今後は授業の中で、生徒一人一人がICT機器を使って授業を受けることになるが、ICT機器は主体的・対話的で深い学びを支える道具でしかなく、どのような使い方をすれば生徒の学習に有効的かについては、さらなる研究が必要であると考えている。

2 研究の概要

(1) 役員研修会

[第1回]令和元年6月 第1回役員研修会

[第2回]令和2年2月 第2回役員研修会

(2) NHK杯全国中学校放送コンテスト

香川県予選 14校 7月26日(金)

アナウンス 20作品 朗読 34作品

ラジオ番組 3作品 テレビ番組 3作品

全国大会への出場はなし

(3) 夏季研修会 令和元年8月20日

場所 善通寺市立西中学校

参加者80名

9:00～9:10 開会行事

9:10～9:50 各地区での研究報告

10:00～12:00 討議と実技研修

【各地区での研究報告について】

各地区でのICT機器の現状や問題点などを報告した。地域によって大きく差があり、ネット環境がまったくつながらないところもあるなど、ICT機器の整備の遅れが目立った。

【討議について】

善通寺市立西中学校 教諭 竹本 弘先生より次の報告があり、討議を行った。

- 国のICT機器整備の現状
- 予算は地方財政措置で講じられている
- 地方交付税で配分されており、学校側から声を上げないと整備が進まない
- 2020年には100GのSINETが使える
- 善通寺市立西中学校のメディアの整備状況及び授業等での実践の内容

【実技研修について】

タブレット向けの教育支援アプリ「ロイロノートスクール」を一人一台のタブレットを使って研修を行った。外部講師を招き、授業でのさまざまな活用方法の説明と実技講習を行った。写真やビデオをその場で撮り、簡単に授業の資料を作ることができるため、ICT初心者の方から一人でもできそうだと好評であった。また、先生方のアンケートでも、このような実技研修を今後とも体験したいとの記述が多かった。

3 成果と課題

ICT機器については、今後段階的に充実していくことになるが、導入に関しては、各地域でどのようなシステムを構築するか、必要な機器は何かといったことを積極的に研究し、声を上げていかなければいけないと考えている。また、現在の各クラス1日に1時間はICT機器を使った授業ができるように、3クラスに1クラス分程度の可動式コンピュータを設置するといった目標が、2023年には一人一台環境になるため、全ての先生が常に授業で使うことが普通の状況になると考えられる。そのため、今後はICT機器の操作に長けた人だけに頼るのではなく、研究してきたものを資産として広く共有し、全ての先生が使えるような研究と研修を進めていきたい。